

バイオマス資源の持続可能な利用

～バイオ燃料を中心に～

講演会詳細

日時 : 2008年3月3日 13:30 ~ 15:00
場所 : 機械系 M4 棟 201 講義室

講演概要

企画者 : 林 潤(大阪大学 大学院工学研究科機械工学専攻 博士後期過程2年)

後援者 : 泊 みゆき 先生(NPO 法人バイオマス産業社会ネットワーク理事長)

講演題目: バイオマス資源の持続可能な利用 –バイオ燃料を中心に–

講演内容: バイオマスエネルギーは再生可能なエネルギーであり, 自然エネルギーの中で最も高いポテンシャルをもつ資源である. 同時に, 持続可能な利用をしなければ枯渇する資源であり, 持続可能な利用をする必要がある.

講演では, バイオマス燃料の世界的な動向, 日本国内の動向, 輸入, 輸出にかかわる問題点と現実的なバイオマス資源の有効活用など, バイオマス燃料に関して様々な視点からお話いただいた. 特に, バイオマス燃料を生産するために熱帯雨林を破壊してしまうことで, バイオ燃料によって人類の持続可能な発展を妨げる可能性について注意する必要がある点などについてご指摘いただいた. また, バイオマスというトピックを通して, 「特定の分野にのみ集中するのではなく, 広い視野を持って研究に当たるべきである」というテーマも含めてご講演いただいた.

講演会後記(感想/反省点)

今回, 講演会を企画開催させていただけることとなり, 自分なりにテーマを探してみたものの, 講演準備に手ごたえ, 結局は指導教官に取り合ってくださいこととなってしまいました. 準備期間を有効に活用して短い期間で企画・運営する能力は今後必要になると考えられ, このような取り組みに参加できたことに感謝したいと思います. 反省点としては, 講演時期が年度末になってしまい, より多くの参加者に来ていただけなかったことが挙げられます.

ご講演いただいた内容は, 自分のテーマのひとつとしてかかわっていることもあり, 非常に興味深く, 大変有意義でした. 今回の企画に対してご協力いただいた先生方, 学生の皆さんに改めて感謝いたします.

